

# 災害時の避難における新型コロナウイルス感染症対策等に関する 国民の意識や行動調査 全体集計結果(速報)

実施主体：CeMI環境・防災研究所（担当：作間）

監修：東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎

令和2年6月

# 目次

アンケート調査の目的	2
アンケート調査の概要	3
回答状況	4
第一次調査 集計結果	5
Ⅰ.災害リスクの認知と行動	6
Ⅱ.新型コロナウイルス感染症への関心度	9
Ⅲ.新型コロナウイルス感染症による行動変容	12
Ⅳ.災害時の避難と新型コロナウイルスの対応意識	18

# アンケート調査の目的

新型コロナウイルス感染症は、近代社会にとっても国難災害に匹敵するウイルス性感染症となった。国の専門家会議の識者によれば、新型コロナウイルスの流行対策を何もしないと、国内での重篤患者数が約85万人に上り、その半数の40万人以上が死亡すると予測した。

南海トラフ地震・津波に関する国の被害想定は、事前対策がない場合は、犠牲者32万になると予想している。つまり新型コロナウイルス感染症は、何も対策を講じなければ、近い将来発生することが現実視されている超大型自然災害以上の国難災害になるかもしれない。

また新型コロナウイルス感染症は、治療薬やワクチンが普及されるまで、完全な沈静化は難しい。少なくとも年単位の時間がかかると考えられる。それまでの間、巨大台風は襲来するし、突発的な地震は発生する。つまり、「新型コロナウイルス感染症」と「より安全な避難環境」をどう両立させるかの課題が自治体や国民に突きつけられているのである。その意味で、**新型コロナウイルス感染症流行時であっても、確実に感染防止ができる避難体制整備と仕組みづくりが急務と考える。**

その方向性を見出すために、防災への関心が高い国民を対象に、これまでの避難行動、新型コロナウイルス感染症への考え、その上での災害避難のあり方を探ることを目的にアンケート調査を実施することとした。

# アンケート調査の概要

1. 調査手法 インターネット調査
2. 調査対象 これまで水害や地震で避難所・親戚知人宅（水平避難）や自宅の2階など（垂直避難）安全な所へ避難された経験のある方
3. 調査項目
  - I.災害リスクの認知と行動
  - II.新型コロナウイルス感染症への関心度
  - III.新型コロナウイルス感染症による行動変容
  - IV.災害時の避難と新型コロナウイルスの対応意識
4. 調査期間 一次調査4月10日～14日  
二次調査4月16日～28日
5. 調査機関 CeMI環境・防災研究所

# 回答狀況

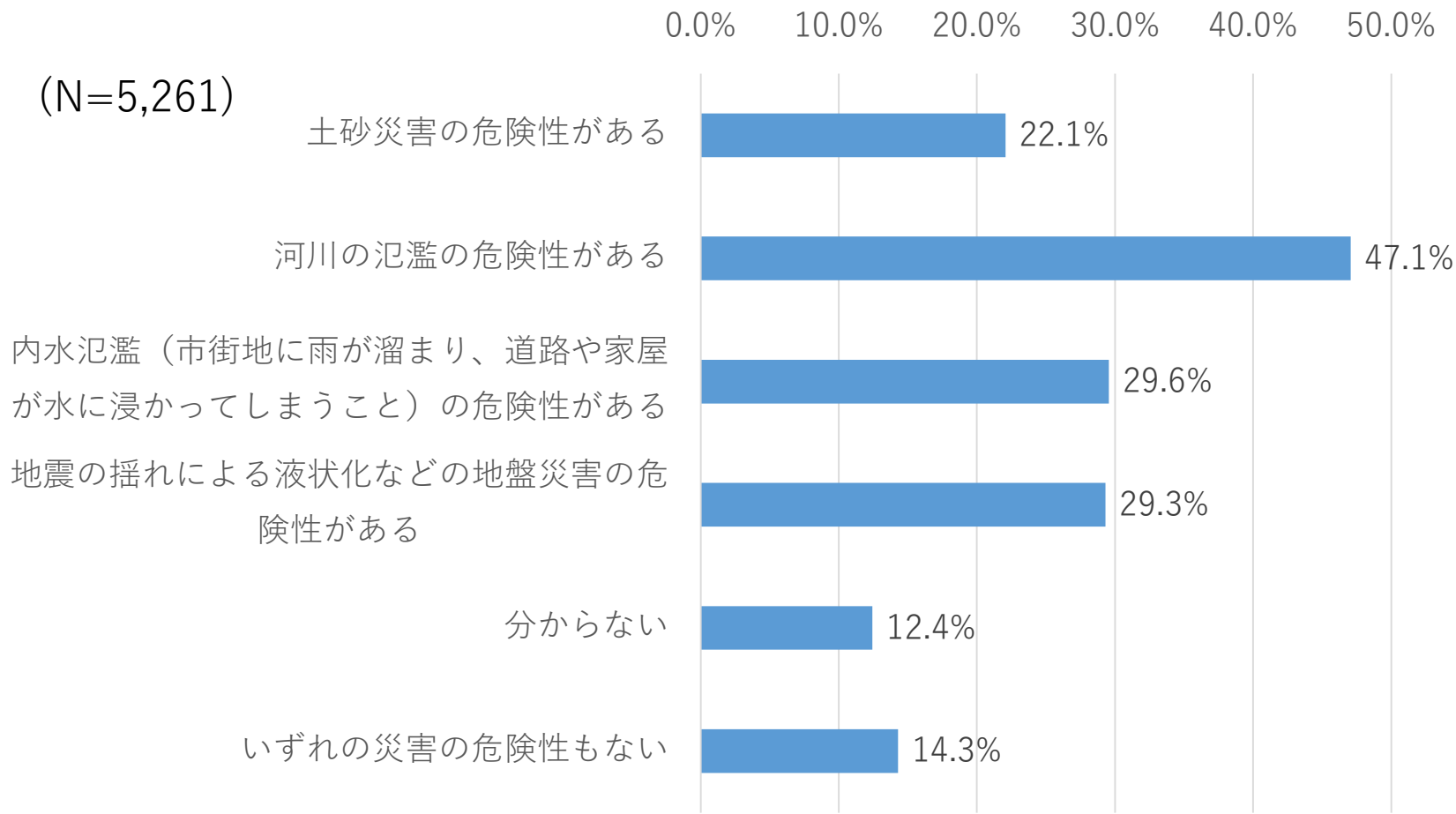
区分	都道府県	目標数	有効回収数
一次	北海道	3 3 0	3 2 3
二次	岩手県	3 0 0	3 2 5
二次	宮城県	3 0 0	3 2 7
二次	福島県	3 0 0	3 2 3
二次	長野県	3 0 0	3 2 4
一次	東京都	1,0 0 0	8 8 3
二次	千葉県	3 0 0	3 2 1
二次	愛知県	3 0 0	3 2 5
二次	三重県	3 0 0	3 2 1
一次	大阪府・兵庫県	5 0 0	5 4 4
二次	愛媛県	3 0 0	3 2 7
二次	福岡県	3 0 0	3 2 7
一次	熊本県	3 0 0	3 2 5
二次	鹿児島県	3 0 0	2 6 6

# 集計結果

# I .災害リスクの認知と行動

あなたのご自宅のある地区には、どのような災害が起こる可能性がありますか。次の中から当てはまるもの全てをお選びください。

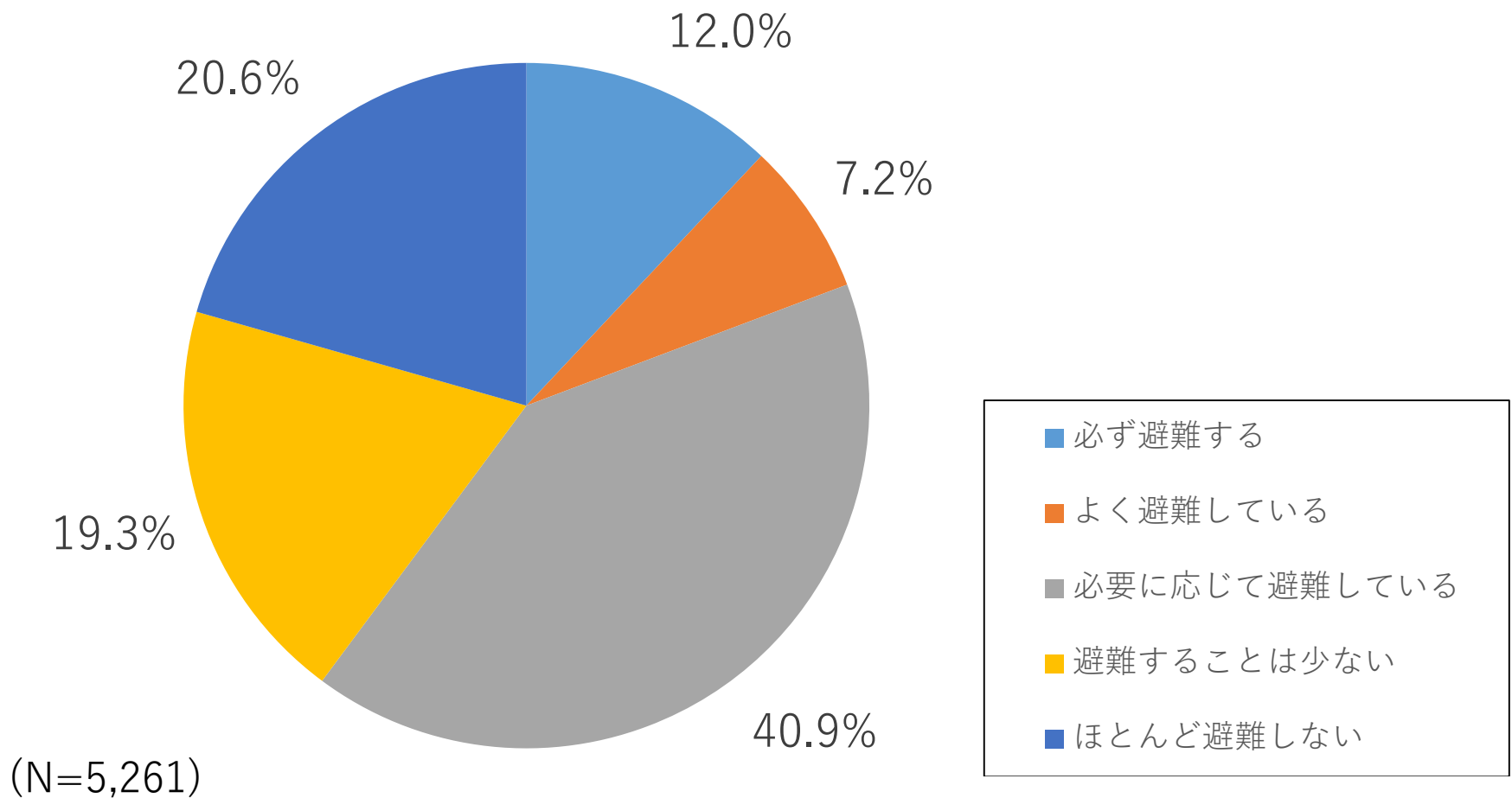
回答者のうち、47.1%は河川の氾濫の危険性がある地区に住んでいる。





あなたは、市町村から避難勧告などの避難の呼びかけがあった時や、災害が起きた、もしくは起こりそうな時に、これまでどうしていましたか。あなたの行動に最も近いものを選んでください

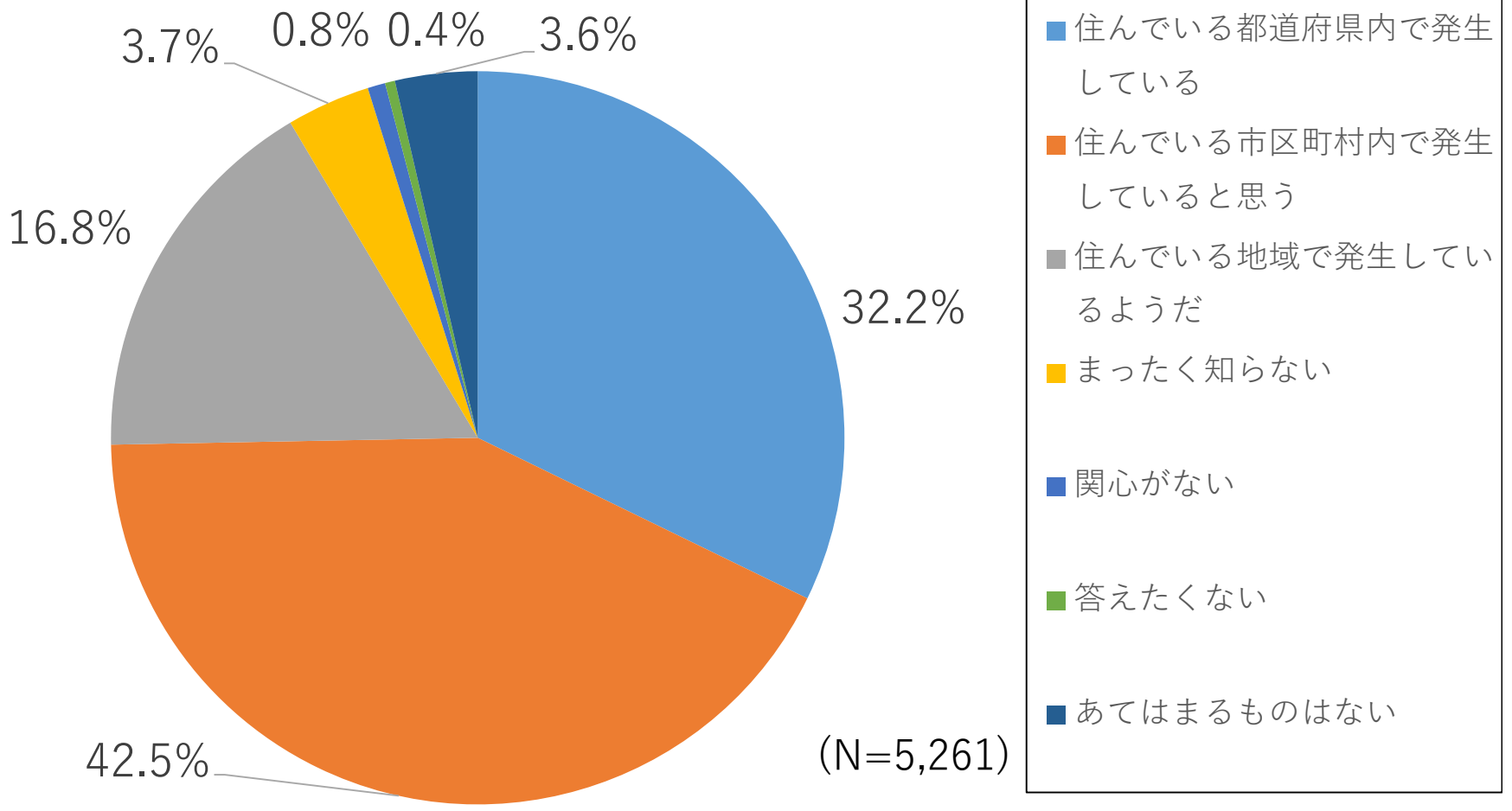
これまで避難の呼びかけや災害が起こりそうな時に、必ず避難する人は12.0%、よく避難している人は7.2%となっている。



## Ⅱ.新型コロナウイルス感染症への関心度

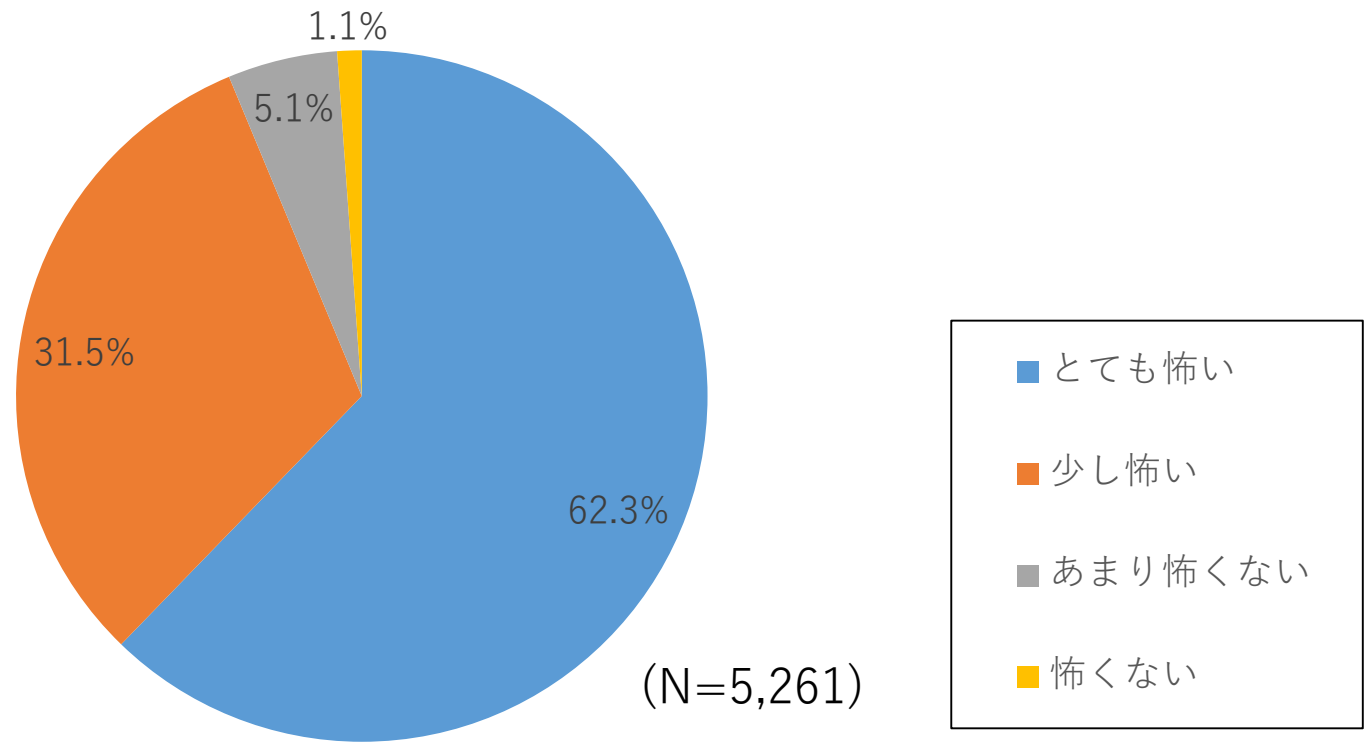
新型コロナウイルスの感染は、あなたにとってどの程度身近なところで発生していますか。あなたの知っていることについて、最も近いものをお教えてください

回答者のうち、42.5%は、住んでいる市区町村で新型コロナウイルスの感染が発生していることを認識しており、住んでいる地域で発生していることを16.8%が把握している。



# 新型コロナウイルス感染症に対して、あなたが思っていることについて、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。

新型コロナウイルス感染症について、62.3%がとても怖いと考えている。怖くないと考えている人は1.1%に留まる。

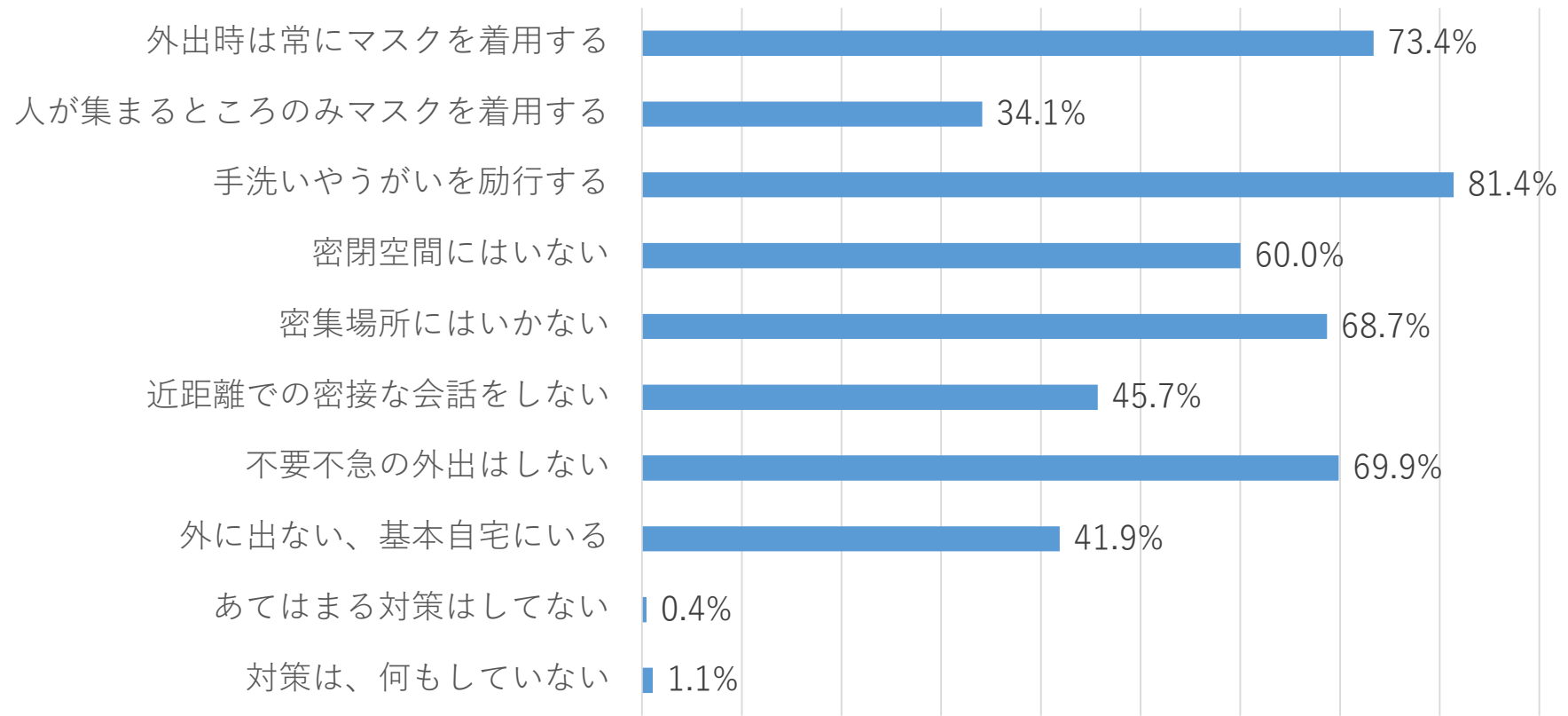


# Ⅲ.新型コロナウイルス感染症による行動変容

# あなたが、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策として、いま行っていることを次の中から選んでください。

感染防止対策として多くの人が行っているのは、手洗いやうがいが81.4%、外出時は常にマスクを着用が73.4%となっている。その他の対策も多く、何もしていない人は1.1%であった。

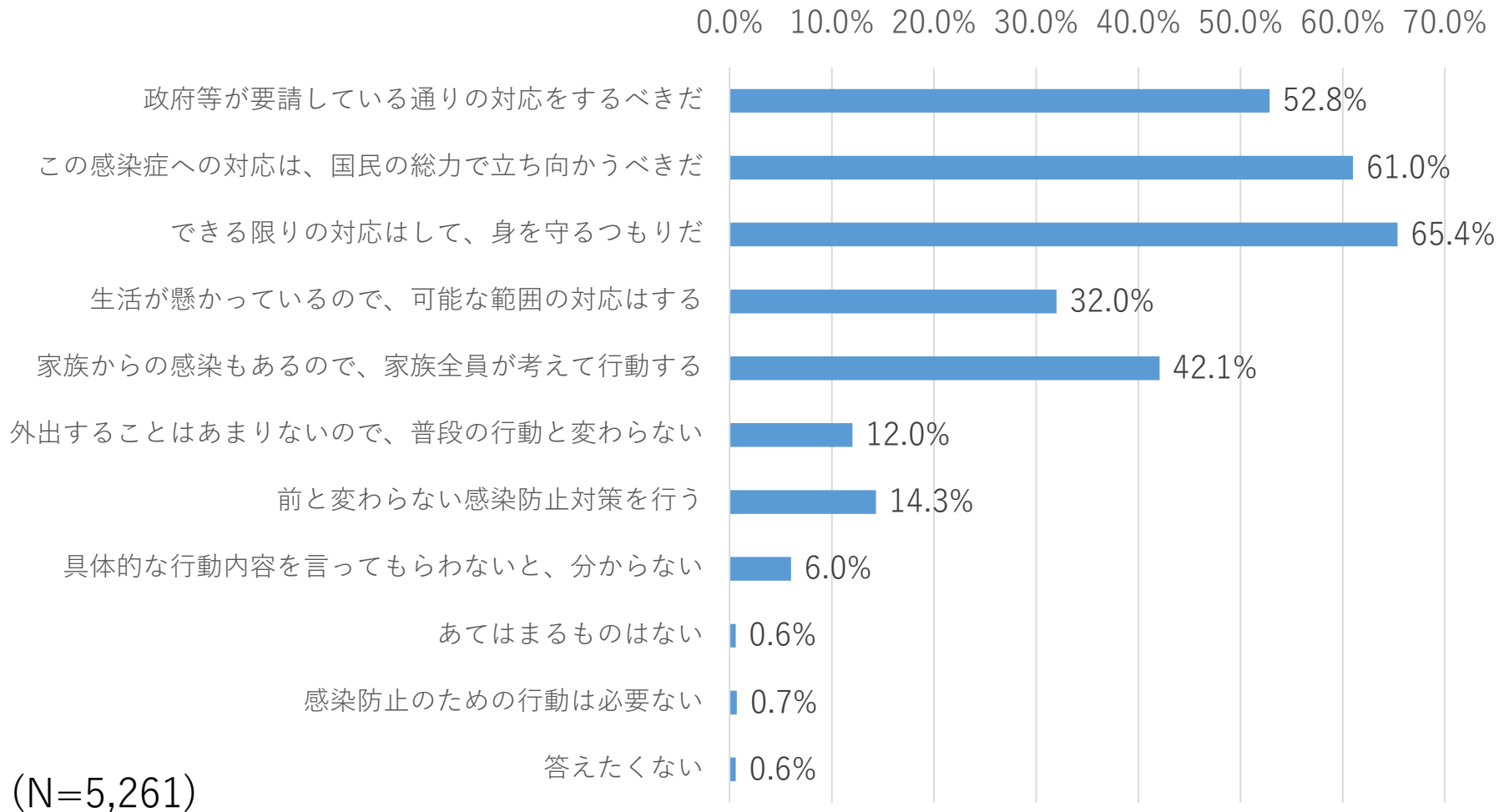
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0%



(N=5,261)

# 4月7日に政府から7都府県に緊急事態宣言が発出されました。このことに対して、あなたはどうか行動すればいいと思いますか。

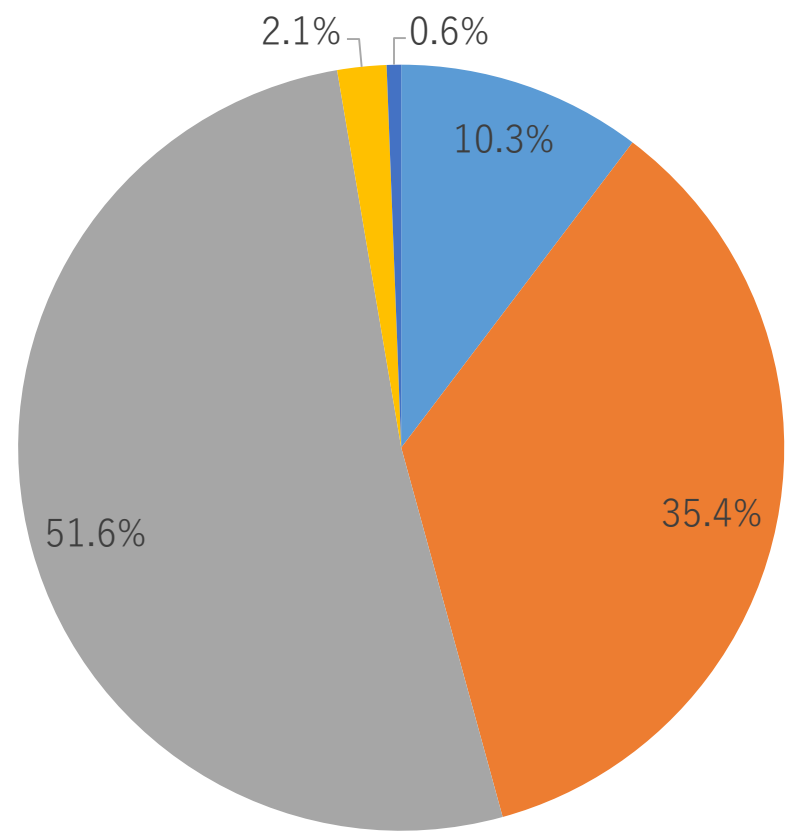
緊急事態宣言が発出されたことに対して、できる限りの対応はして身を守るつもりだと考えている人が65.4%と多い。



(N=5,261)

# あなたは、新型コロナウイルス感染症が流行し始めて、感染防止対策など、対応が変わりましたか。

感染症の流行が始まってから感染予防に注意するようになり、緊急事態宣言以降はさらに外出抑制に留意するようになった人が51.6%と多い。



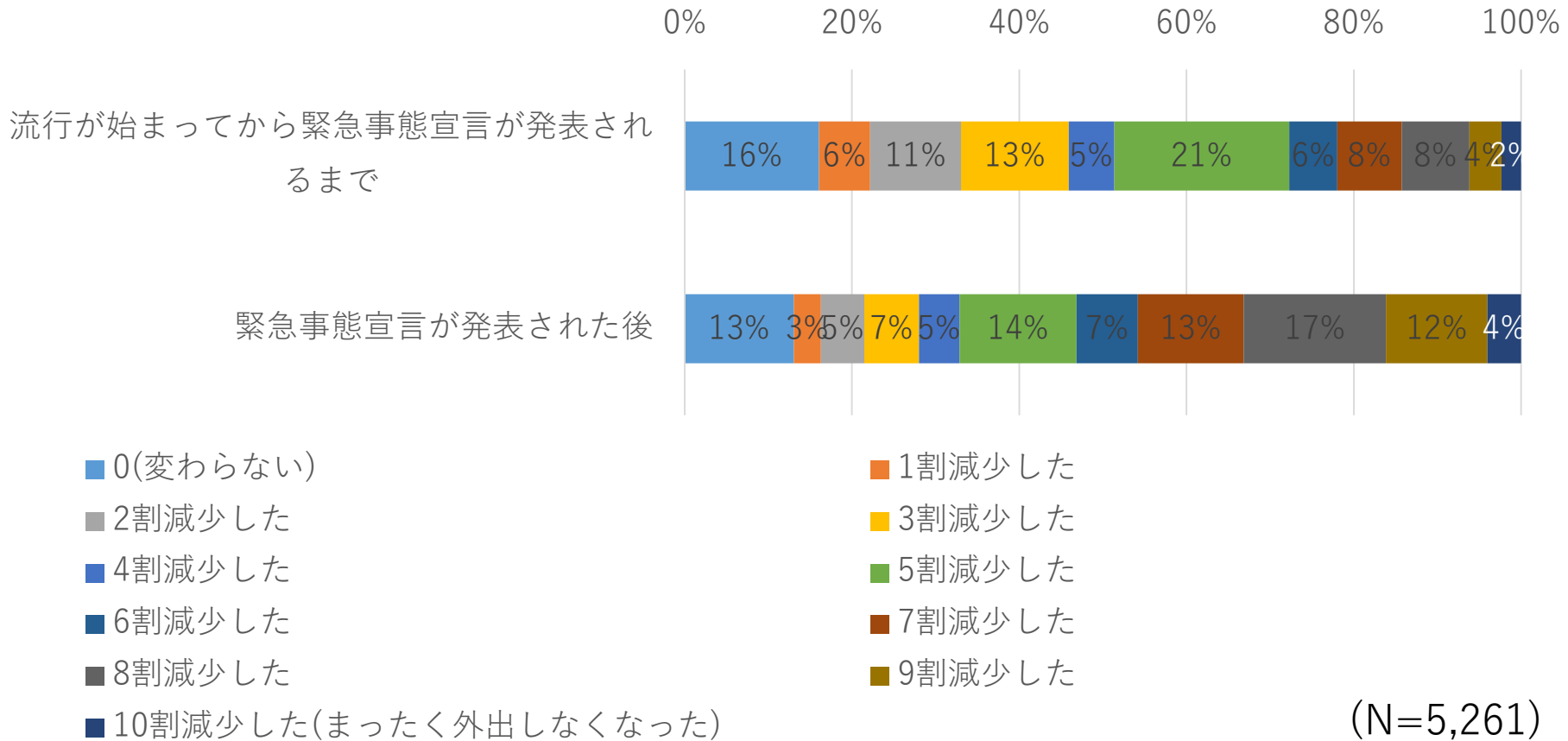
- 流行する前の普段と何も変わらない
- 感染流行が始まってから感染予防にとっても注意するようになった。緊急事態宣言が出されてもそれは変わらない
- 感染流行が始まってから感染予防にとっても注意するようになった。さらに緊急事態宣言以降はさらに外出抑制など留意するようになった
- 分からない
- その他

(N=5,261)



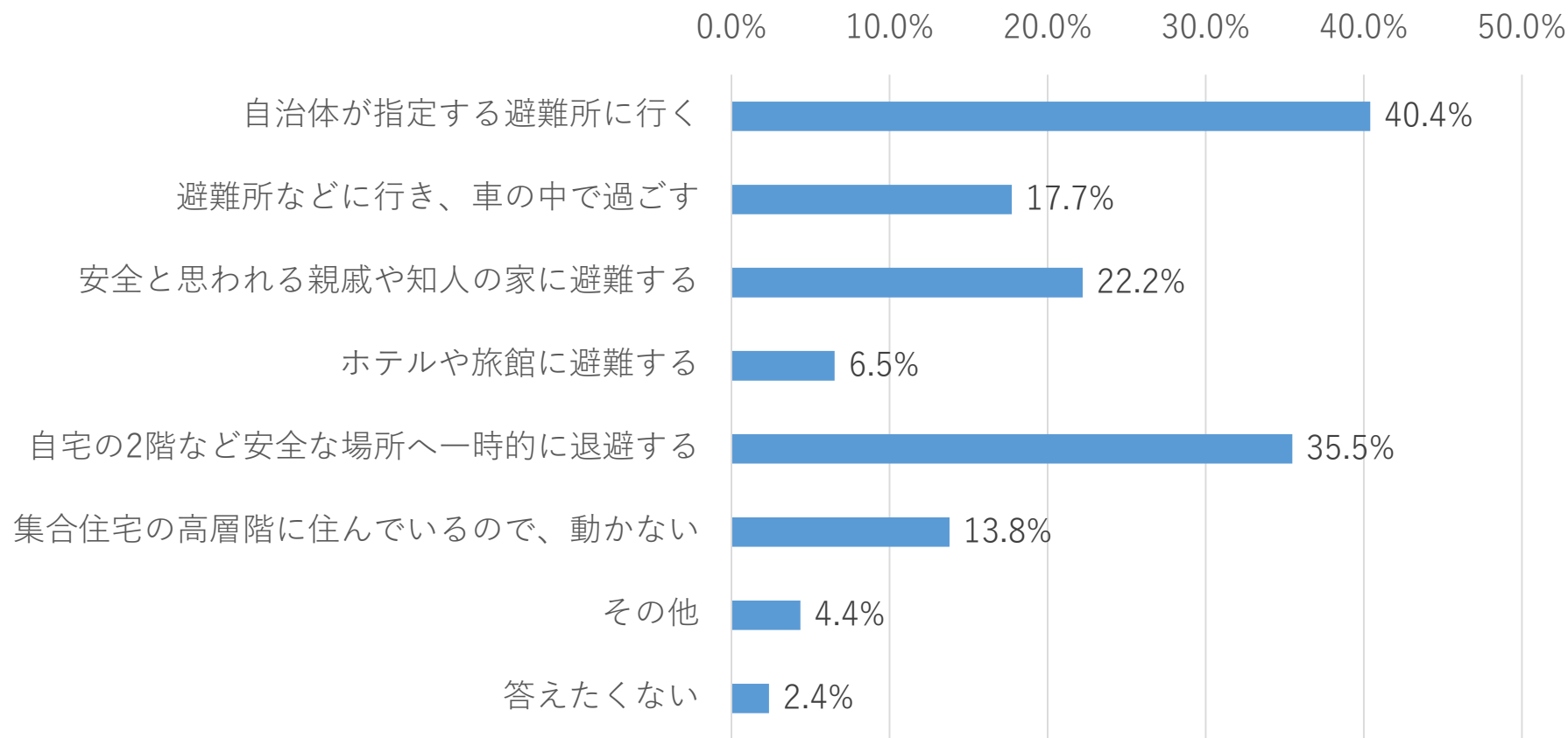
# 新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べて、外出する頻度はどの程度減少しましたか。

緊急事態宣言が発表されて以降、外出頻度が7割以上減少した人が46%（10割減：4%、9割減：12%、8割減：17%、7割減：13%）となっている。



# これまでに市町村から避難勧告などの避難の呼びかけがあった時や地震・水害が起きた時、水害が起こりそうな時に、どのような避難行動をとっていましたか。

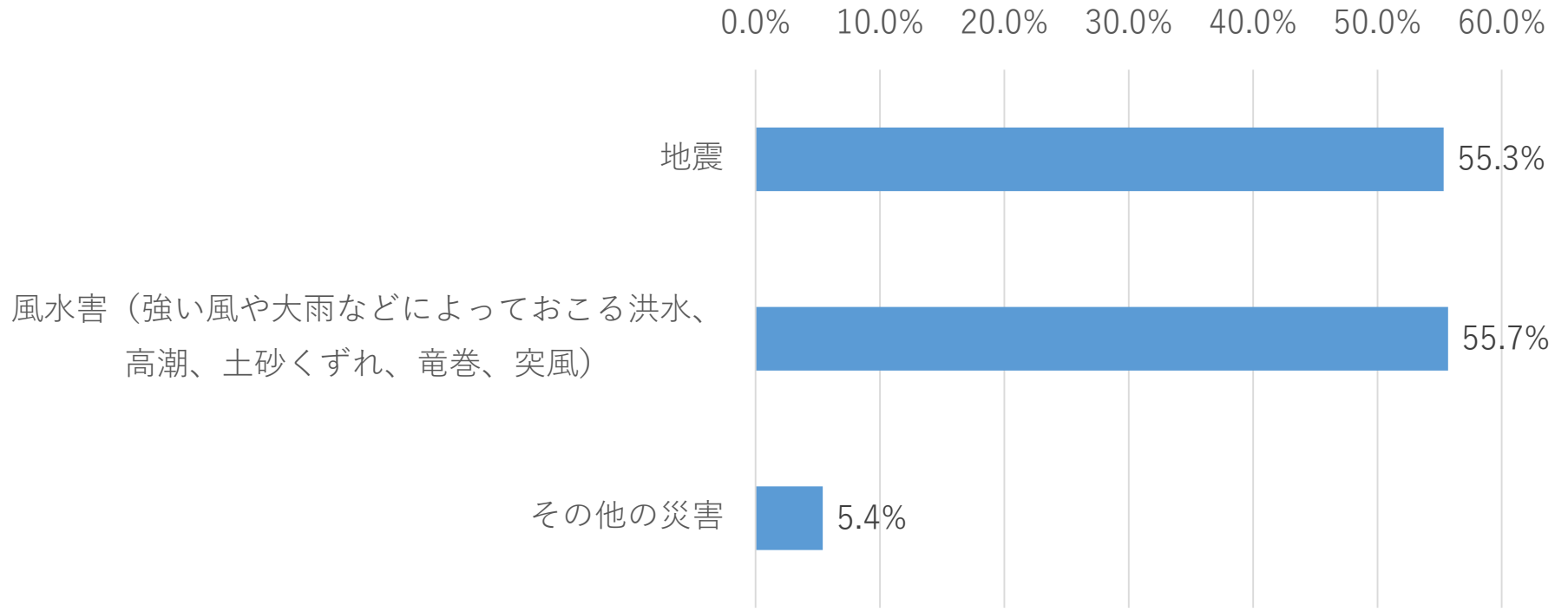
これまでに避難の呼びかけや災害が起こりそうになった時の避難行動として最も多いのは、自治体が指定する避難所に行く(40.4%)であった。



(N=5,261)

# あなたが、避難行動をとったのはどのような災害の時でしたか。あてはまるものをすべてお選びください

これまでに避難行動をとった災害は、55.3%が地震であり、55.7%が風水害であった。

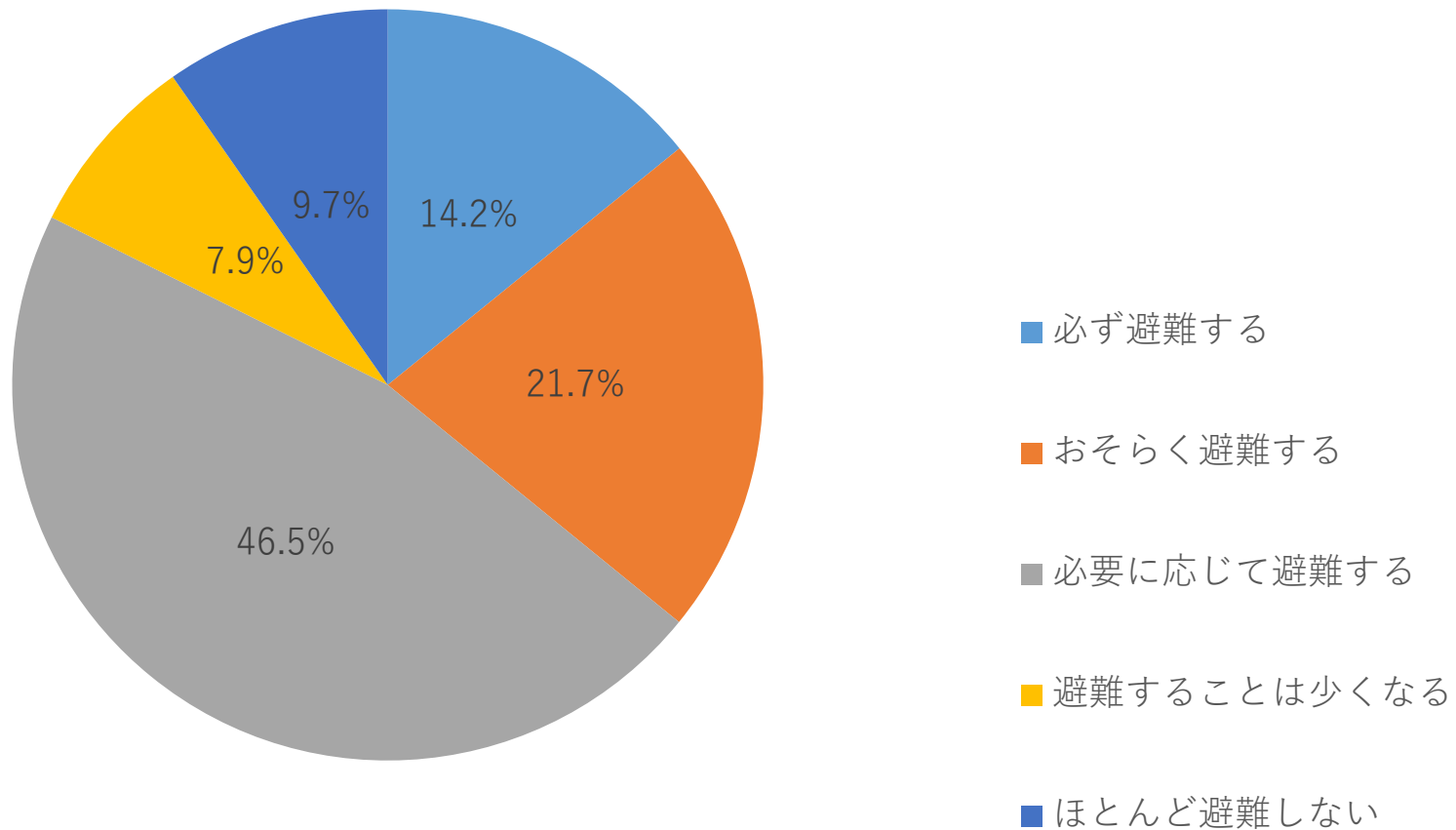


(n=5,136) ※前頁で「答えたくない」と回答した人を除く。以下、n=5,136は同じ。

# IV.災害時の避難と新型コロナウイルスの対応意識

# 新型コロナウイルスの感染が拡大している現在、市町村から避難勧告などの避難の呼びかけがあった場合や、災害が起きた、もしくは起こりそうな場合に、あなたは避難しますか

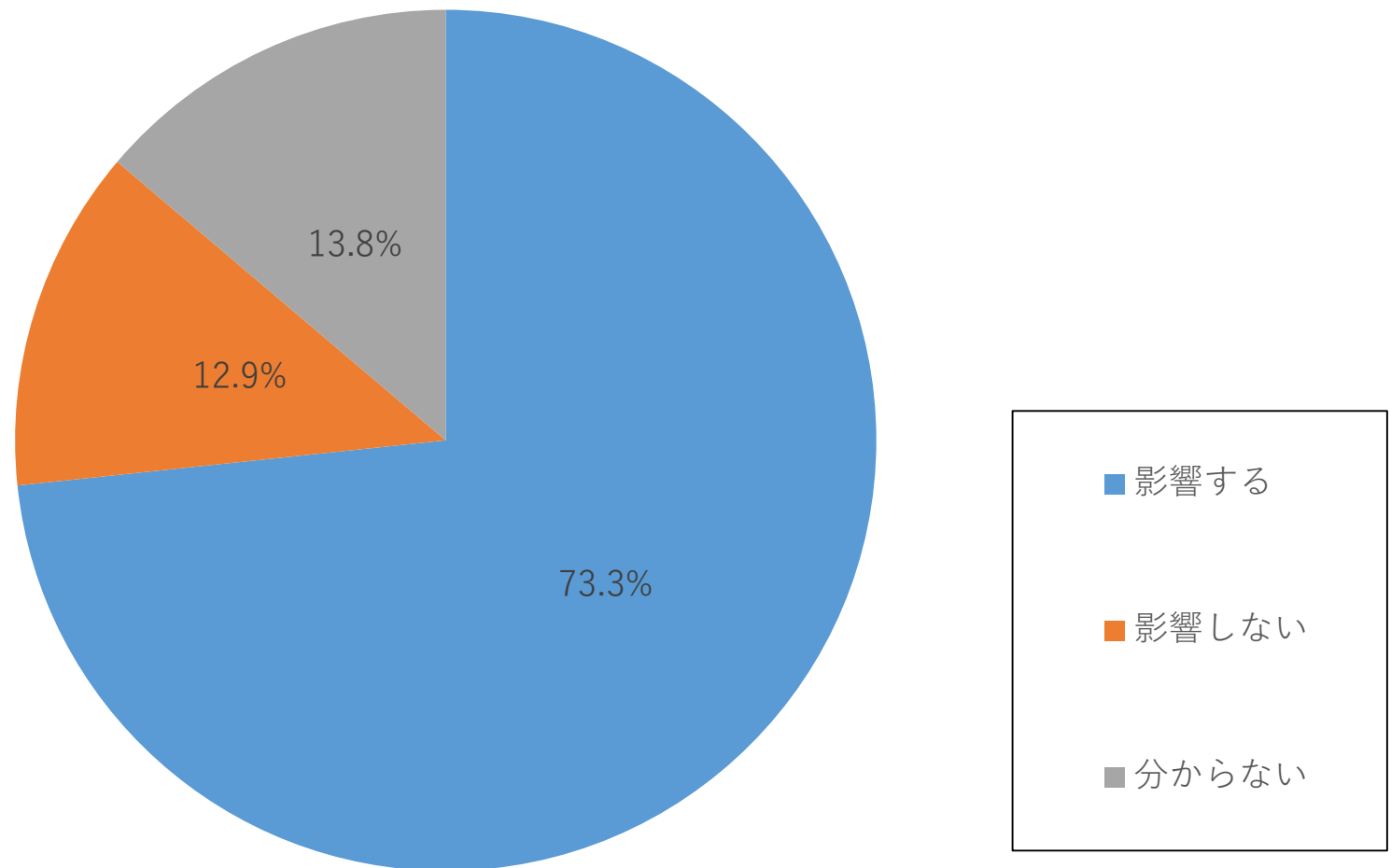
新型コロナウイルスの感染拡大している現在、市町村から避難の呼びかけがあった場合、必ず避難する人は14.2%であった。



(n=5,136)

# 新型コロナウイルスの感染拡大が、あなたの災害時の避難に影響すると思いますか。

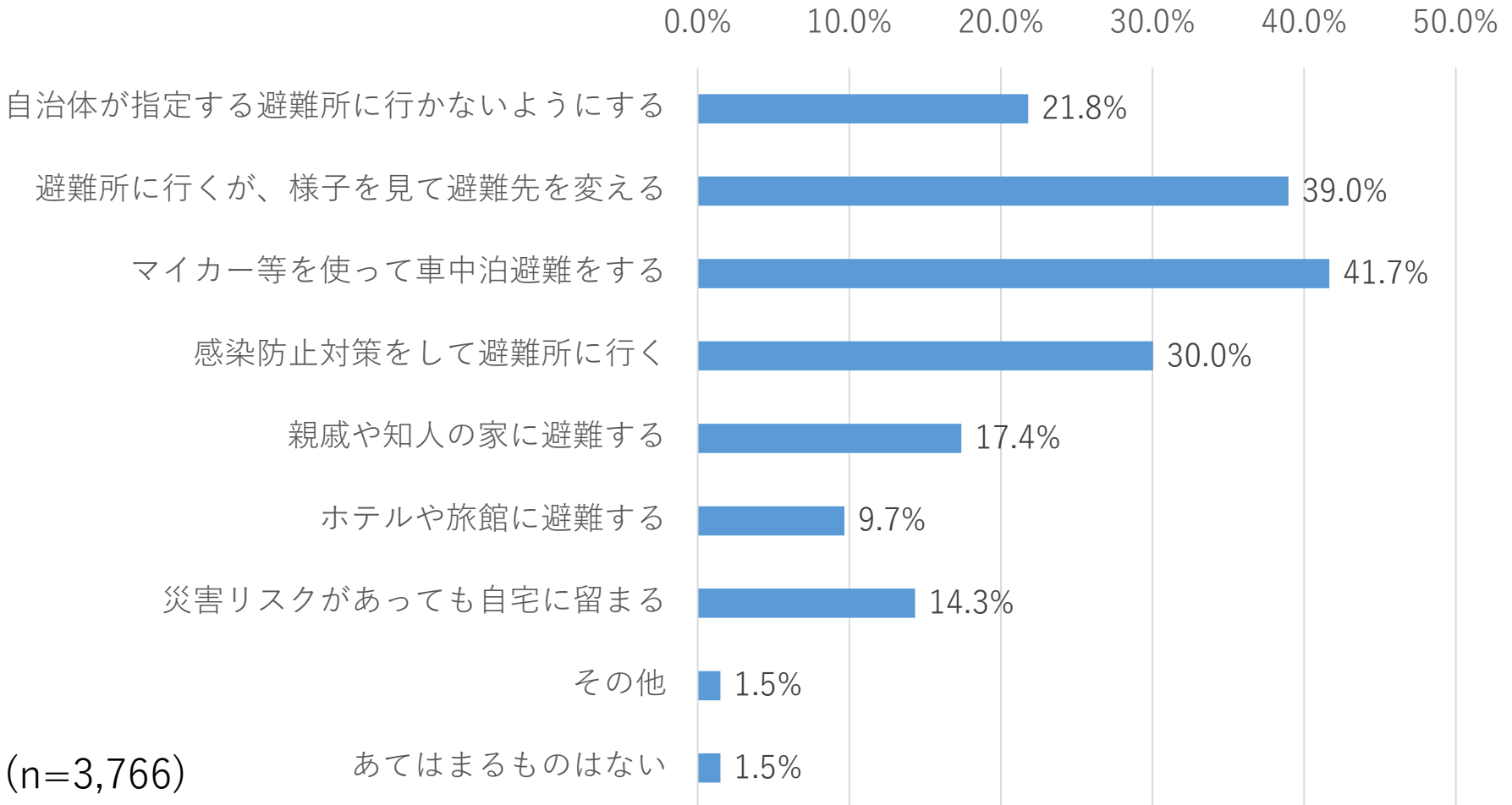
災害時の避難行動に対して、新型コロナウイルスの感染拡大が影響すると回答したのは73.3%であった。



(n=5,136)

**(前問で「1. 影響する」と答えた方)新型コロナウイルスの感染拡大は、あなたの避難行動に具体的にどのような影響を与えますか。**

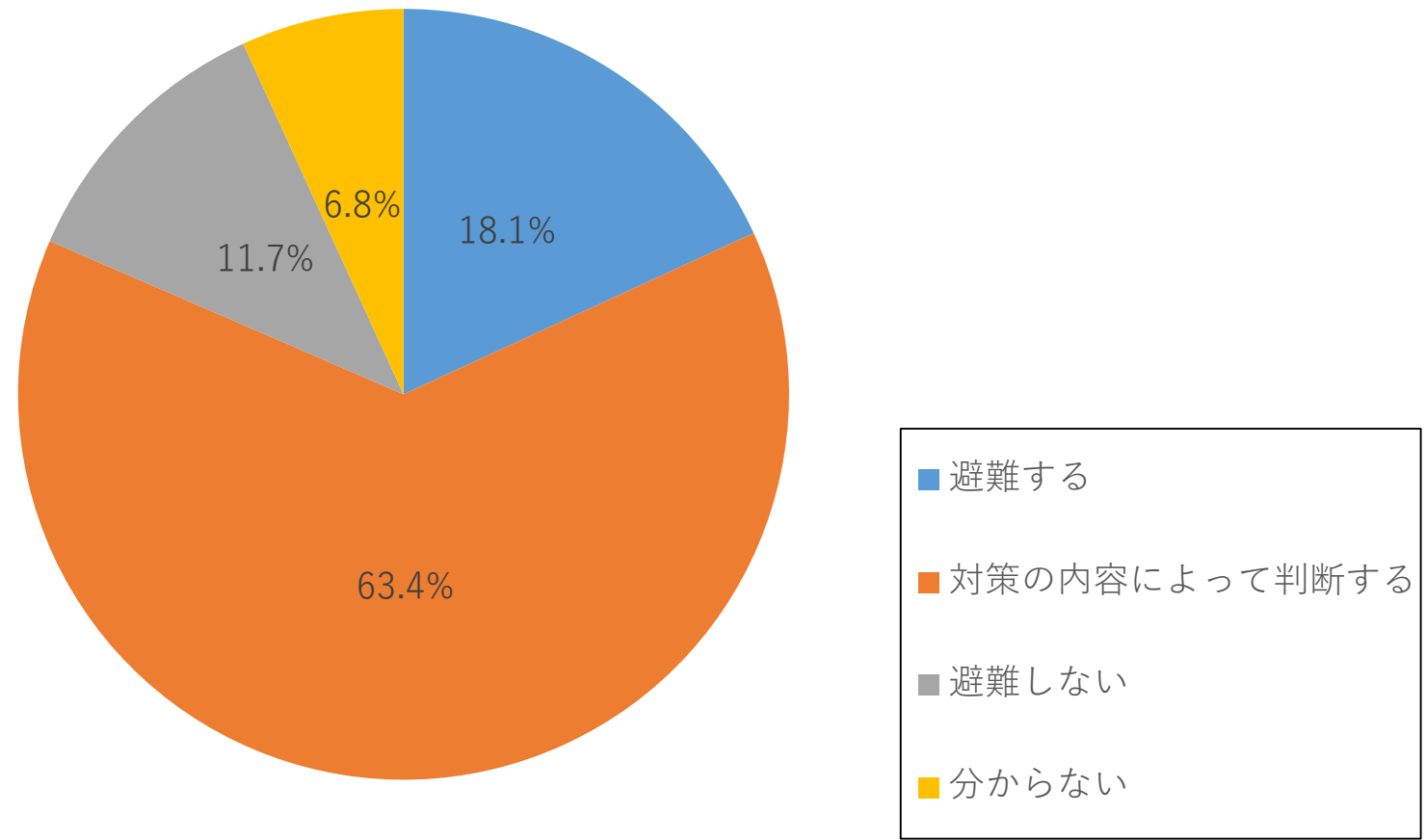
新型コロナウイルスの感染拡大が避難行動に影響すると回答した人(3766人)のうち、41.7%はマイカー等を使って車中泊避難をすると回答し、39.0%は避難所の様子を見て避難先を変えるると回答している。



(n=3,766)

# あなたは、避難所において新型コロナウイルスへの感染防止対策が行われていれば、避難しますか

避難所への避難について、新型コロナウイルスの感染防止対策の内容によって判断すると回答した人が63.4%となっている。

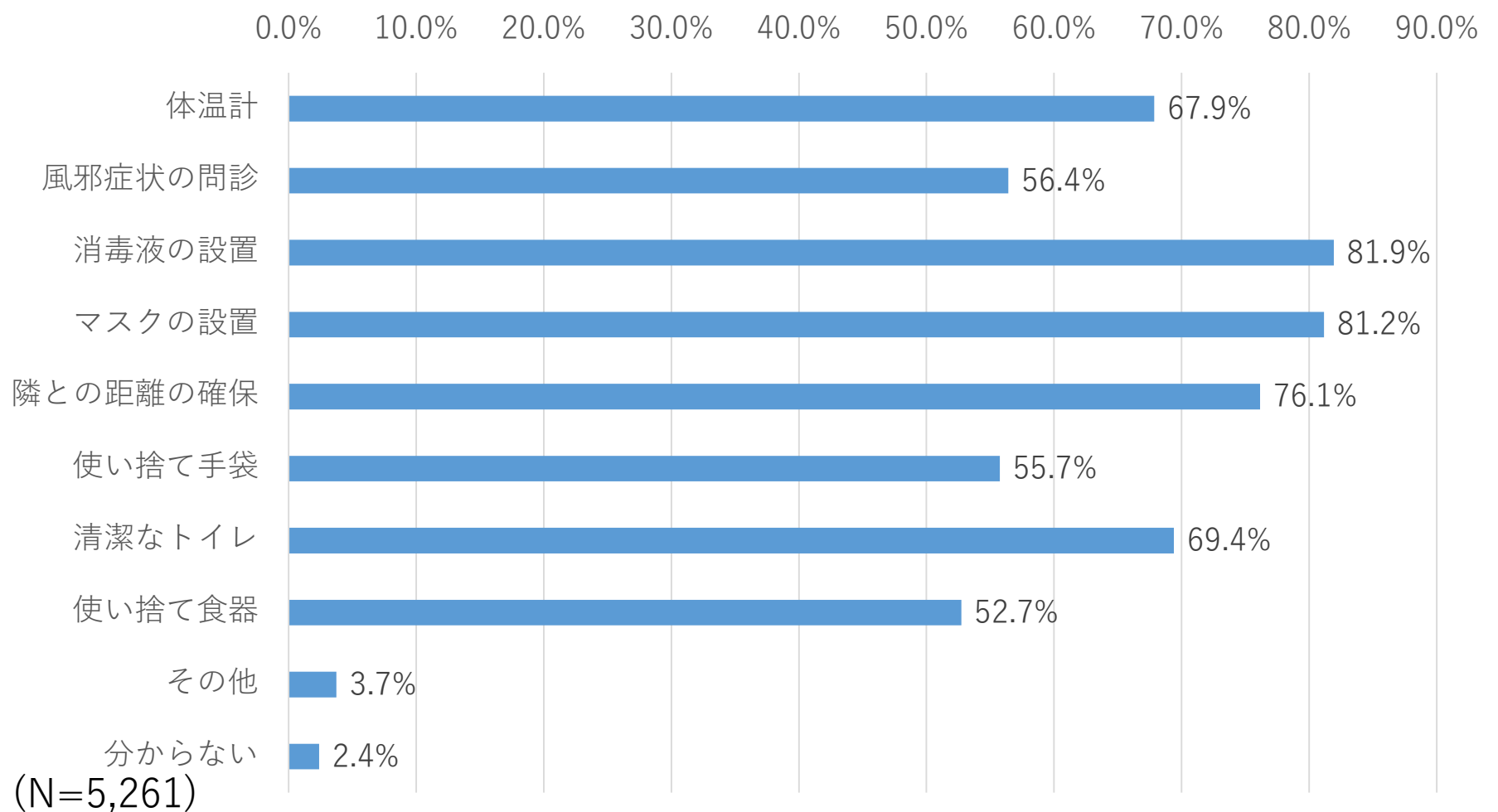


(N=5,261)



あなたは、避難所において新型コロナウイルスへの感染防止対策として、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から必要だと思うものをすべて選んでください。

避難所の新型コロナウイルス感染防止対策として必要だと考えていることは、消毒液の設置が81.9%、次いでマスクの設置が81.2%、隣との距離の確保が76.1%となっている。



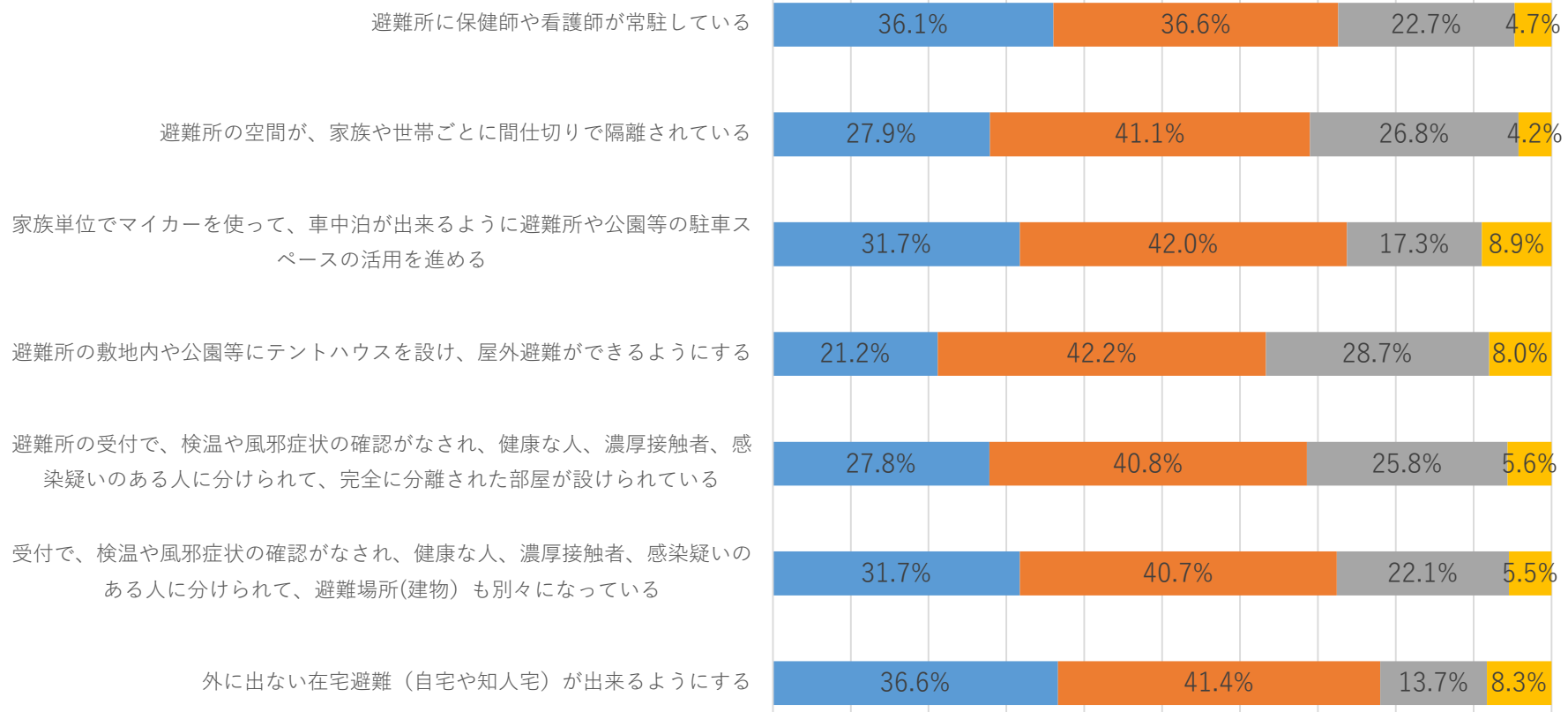
(N=5,261)

# 新型コロナウイルスへの感染防止対策として、どのようなことが併せてなされていれば、安心して避難できると思いますか。それぞれの対策について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

災害時の避難に関する感染防止対策について、安心して避難できると回答者が考えている対策は、避難所に保健師や看護師が常駐が36.1%、在宅避難ができるようにするが36.6%、健康な人と感染疑いの人の避難場所を別々にするが31.7%となっている

(N=5,261)

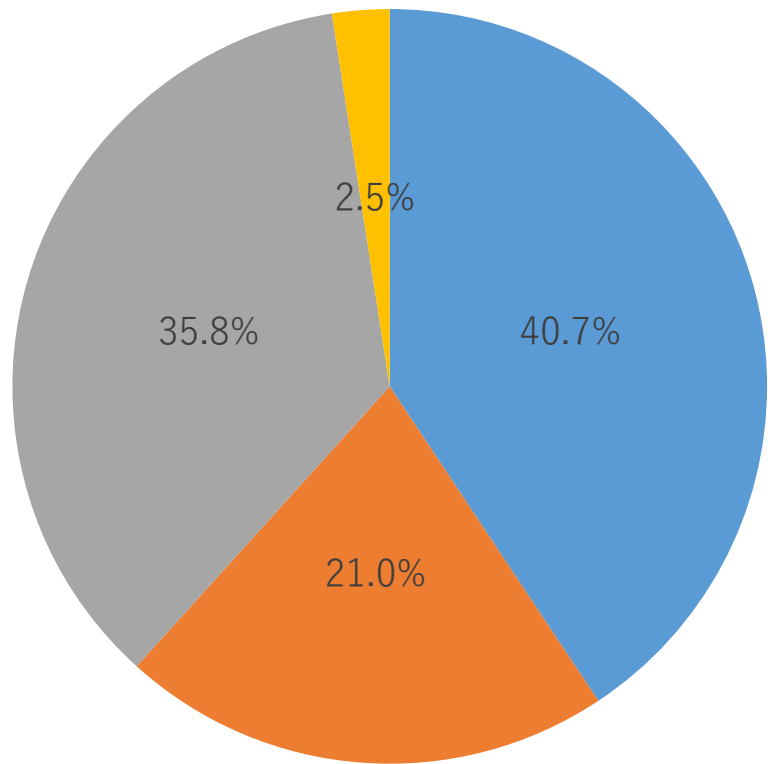
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 安心して避難できる ■ 心配であるが、避難できると思う ■ それだけでは安心して避難できない ■ わからない

# 新型コロナウイルスの感染リスクと地震や洪水による災害リスクについて、あなたにとってどちらのリスクが影響あると思いますか。

地震や洪水による災害リスクと新型コロナウイルスの感染リスクの影響を比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えている人が40.7%と多かった



- 新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと思う
- 自然災害による被害の影響が大きいと思う
- 比べられるものではない
- わからない

(N=5,261)

# 回答者の属性

あなたご自身も含めて、現在、同居している方は何名いらっしゃいますか

		全体
		5261
1	1人	16.3%
2	2人	30.9%
3	3人	26.0%
4	4人	17.0%
5	5人	6.2%
6	6人以上	3.6%

あなたのお住まいの住居の形態と階数をお教えてください

		全体
		5261
1	戸建て平屋	9.7%
2	戸建て2階建て以上	55.5%
3	集合住宅	34.8%

性別

		全体
		5261
1	男性	62.7%
2	女性	37.3%

あなたは、現在お住いの場所に住み始めてどのくらいになりますか

		全体
		5261
1	5年未満	20.1%
2	5年以上10年未満	17.7%
3	10年以上20年未満	23.0%
4	20年以上40年未満	27.3%
5	40年以上	11.9%

年齢層

		全体
		5261
1	15歳未満	0.1%
2	15歳～19歳	1.5%
3	20歳～29歳	9.4%
4	30歳～39歳	17.6%
5	40歳～49歳	22.4%
6	50歳～59歳	22.7%
7	60歳以上	26.3%